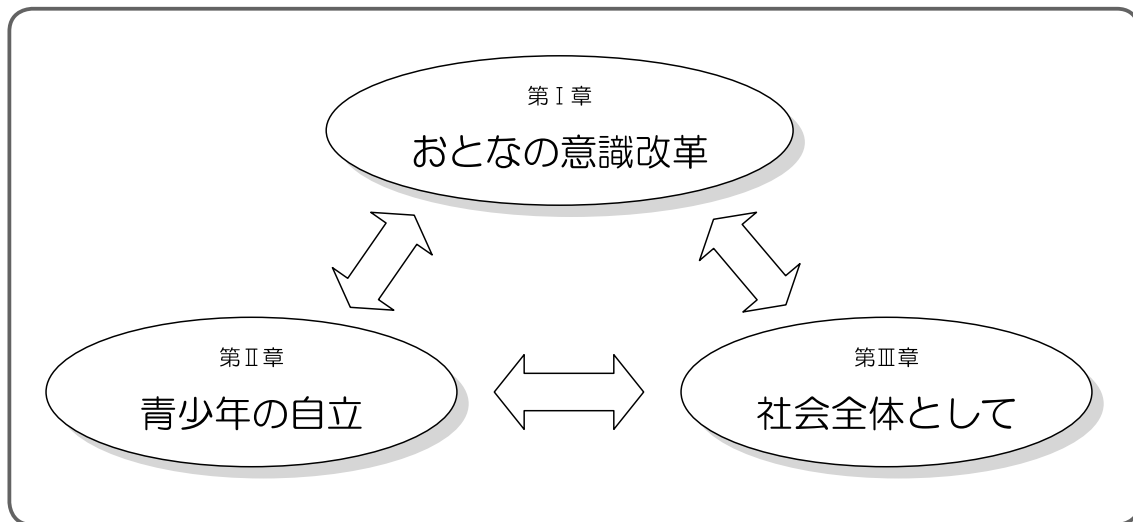


# 第Ⅲ章 社会全体として

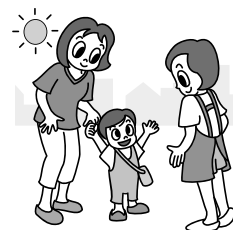
## 1 このプランの特徴 第Ⅰ章 第Ⅱ章との関連性



第Ⅰ章では、青少年の育成を語る前に、「おとなの意識改革」を大前提として捉えています。次に、第Ⅱ章で、青少年の育成にあたって目指すビジョンに、「青少年の自立」（責任の自覚）を挙げました。そして、第Ⅲ章では、「社会全体として」青少年を支えていくことについて取りあげます。この3本の柱は、Ⅰ→Ⅱ→Ⅲという順序がありながら、「社会全体での取り組み」には「おとなの意識改革」が必要であり、「社会全体でサポート」しようとしても「青少年に自立しようとする意識」がなければ成り立たないなどといった関係にあります。そのため、どの章から取り組んでも「若い世代の健やかな成長を促し、文の京の担い手を育てる」ことにつながる仕組みとなっています。

## 2 重点行動

まず、一人ひとりの行動が大切です。このプランでは、「おとなの意識改革」をもとに、「はじめの一步」として、より具体的に、次のことを提案します。



“はじめの一步”は、みんなのこの行動から！！

### あいさつ・声かけ…きっかけ作り！

青少年とのコミュニケーションのことだけではありません。まず、おとなどうしのきっかけ作りも第一歩！子どもはちゃんと見ていますから…

(例えば…)

- ☆ 子どもたちの登下校の時間帯に合わせて、水やり・ゴミ出し・掃除など…屋外に出て、青少年とのコミュニケーションのきっかけを！(声かけができる事業を企画してみても、人数が集まれば、きっかけ作りも勇気100倍！)
- ☆ 区報や近所の掲示板などに注目！情報を入手し、イベントに「参加」してみてください。そこでも、コミュニケーションのきっかけを！

人間関係を築くうえで、相手とのコミュニケーションは最も大切なものの一つです。中でも、直接相手の表情を見ながら交わす「対話」は、子どもたちのやる気をのばしたり、ちょっとした悪戯の抑止や注意ができるようになる<sup>(註)</sup>など、青少年を見守るあたたかい社会づくりにつながっていきます。

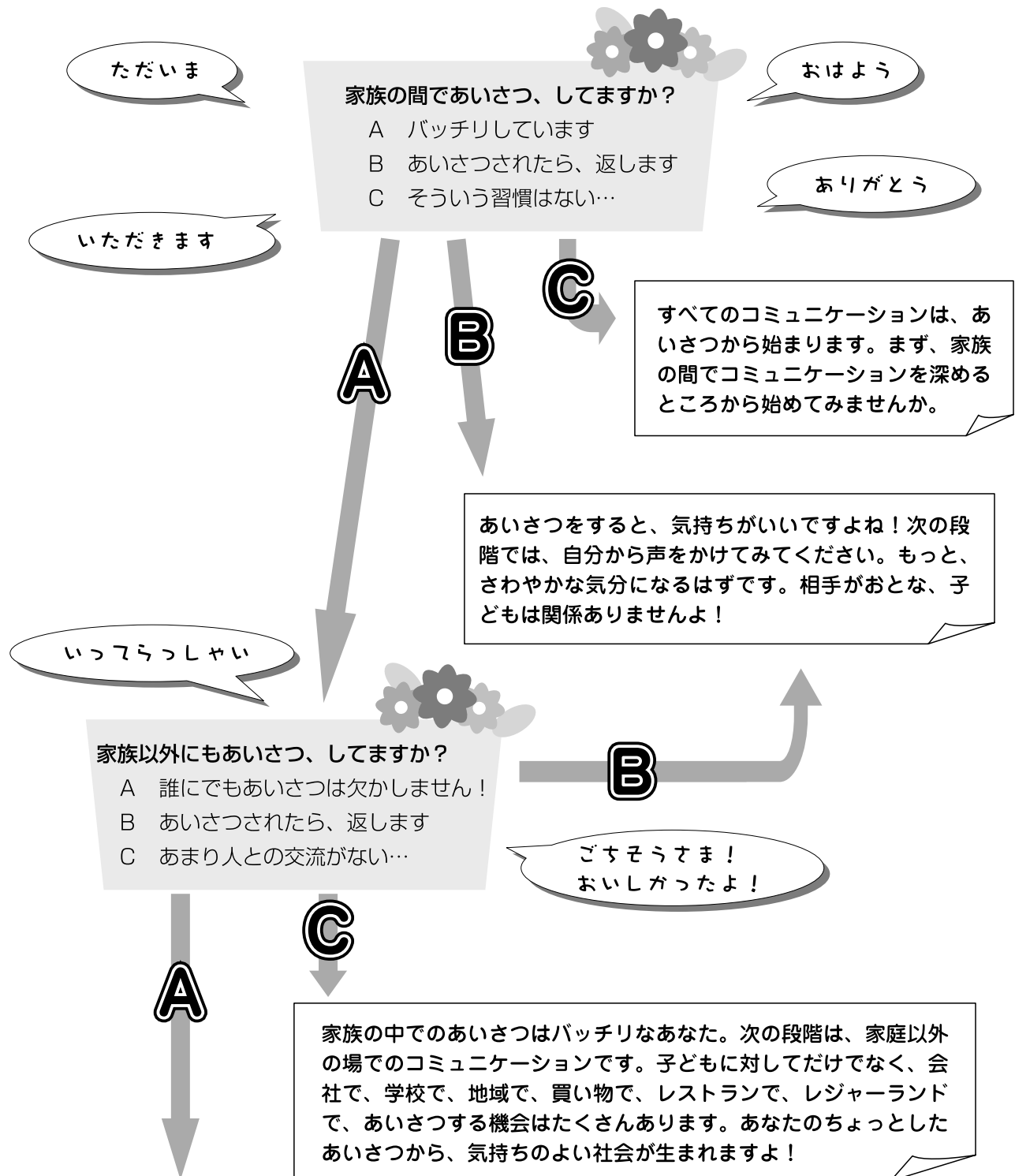
きっかけの一つは、まず**あいさつ**。子どもたちは、学校などで「あいさつをしよう」という目標を目にすることが多いものですが、さて、おとなはどうでしょう？また、あいさつが日常化している人でも、もう一声、会話にまで発展させることは、少し勇気のいるものです。

コミュニケーションのきっかけ作りは、一人ひとりの取り組み方が異なっていて良いのです。それぞれが、できるところから、はじめの一步を踏み出してください。

(註) コミュニケーションが十分にとれていない場合は、たとえ、街中で子どもたちの非行を目にした場合でも、「注意しなければならぬ」という使命感にとられる必要はありません。まず警察へ通報するなど、事件等に巻き込まれないようにすることも場合によっては必要です。

やってみよう！あなたの今やるべき取り組みがわかる

## 「コミュニケーションきっかけ作り」段階チェック！！



**A**

- (1) 相手の目を見ながらあいさつしている
- (2) 時と場所に合わせたあいさつをしている
- (3) 知らない人ともなるべくあいさつをするきっかけを作ろうとしている

- A 上記3つとも、心がけている
- B 全くあてはまらない、又は、あてはまらないものがある

**B**

あいさつにも、いろいろなあいさつがあります。  
相手の表情が見ながら、笑顔と笑顔であいさつができた  
ら、とても明るい気持ちになりませんか？  
また、状況や場所に合わせたあいさつができれば、◎！  
そして、はじめは知らない人どうしても、あいさつとい  
うちょっとしたきっかけで知りあいになり、社会に笑顔  
の和が増えるといいですね！

**A**

近所の子どもが、お店にひとりでお使いに来ています。  
子どもに声をかけるとするなら？

- A あら、お手伝い？えらいなあ。がんばって！
- B あら、お手伝い？大変だねえ…。かわいそうにね。

**A**

**B**

子どもたちに声をかけることは、とても素晴らしいこと  
です。でも…、子どもたちは、ちょっとした一言で、せっか  
くのお手伝いを、「自分は大変なことをやらされて、かわ  
いそうなんだ。」とってしまうことも。子どもが良い行  
いをしていれば上手にほめてあげましょう。

A

「ねえ、今日、学校でね…」 「お友だちの話なんだけど…」  
忙しい時間なのに、子どもが何か、話したそうです。

- A 時間をとって、ちゃんと真剣に耳をかたむけます。
- B 「あとにして！」と言って、そのままにしてしまうことも…

A B

コミュニケーションは、どちらか一方のアプローチだけでは成り立ちません。あいさつや声がけは、きっかけの一つですが、おとな側からのアプローチだけで終わることなく、そこから子どもの声や意見にしっかり耳を傾けることこそが大切です。子どもとのコミュニケーションを通して、小さなサインも見逃さずに…。

## すばらしい！ あなたは、コミュニケーションの達人です！

ここに到達する人がどんどん増えていけば、  
きっと気持ちの良い社会に確実に近づいているでしょう。  
文の京の明日を担う青少年のために、きっと！



いかがでしたか？

このチェックは、一度でなく、何度でも挑戦してみてください。そして、より多くの人  
が、第一歩を踏み出し、さらにステップアップしていただけることを願っています。